



Mitake
Sayaka
Salon

美竹清花さろん こけら落とし【第三日】

五十嵐薫子 ピアノコンサート

2017年7月15日(土)

開場14:30 開演15:00

入場料 4,000円(全席自由席)*ワンドリンク付き



Program *曲目・演奏順は変更になる場合がございます。

バッハ：イタリア協奏曲 BWV.971

シューベルト：即興曲 Op.90-2,90-3

シューマン=リスト：「献呈」S566 R253

ショパン：ワルツ 第5番 変イ長調Op.42

ノクターン第1番 変ロ短調Op.9-1

アンダンテピアノと華麗なる大ポロネーズ Op.22

スケルツォ 第3番 嬰ハ短調Op.39

Profile

五十嵐薫子 (いがらし・かおるこ)

6歳より桐朋学園子供のための音楽教室にてピアノを習う。

2003年 第23回ピティナピアノコンペティションB級全国大会金賞。

2010~11年 ショパンコンクールインAsia高校生部門アジア大会銀賞。

2014年 ピティナピアノコンペティション特級銅賞。

2015年 桐朋コンチェルトコンペティション第1位。

明治クオリティオブライフ奨学生、桐朋学園特別奨学生。

第84回 日本音楽コンクール第3位、あわせて三宅賞を受賞。

2017年 桐朋学園大学を首席で卒業し、桃華楽堂での御前演奏会に出演。これまでに、今泉紀子、山田富士子、村上弦一郎、横山幸雄の各氏に師事。現在、桐朋学園仙川キャンパス特待生として、桐朋学園大学大学院修士課程1年に在学中。

まるで音に魂が宿り、ほとばしるような瑞々しさ

単音だけでなく、音のまとまり・塊に、なんともいえない美しさ、瑞々しさ、軽やかさが秘められています。こういうピアニストこそが真のピアノの名手になるのだと思います。そうしたやり方で一つ一つの作品に丹念に取り組む、演奏を洗練させていったとき、いったいどうなってしまうのか！ とてつもない未完の楽器を感じるピアニスト、それが五十嵐薫子さんです。彼女のテンポの心地良さは抜群！まるで音に魂が宿り、ほとばしるような瑞々しさ――

空間に波紋が伝わるかのようにそこにいる人みんなが、彼女の魅力にひき込まれてしまいます。個人的には、この人のモーツァルトは絶品だと感じてきました。よく言われることですが、ピアニストにとってモーツァルトは鬼門であり、合う人・合わない人、積極的に取り組む人・取り組まない人がいるそうです。五十嵐薫子さんというピアニス

トは、まだ20歳をわずかに過ぎたばかりの若い女性ピアニストですが、明らかにすばらしいモーツァルト弾きになると感じています。

ところが、今まで五十嵐薫子さんのピアノの生演奏では、まだモーツァルトを聴いたことがありません。しかし、ショパン、ラフマニノフ、チャイコフスキー、ベートーヴェン…、聴く曲、聴く曲がとてすばらしく、モーツァルトのことなど、まったく忘れさせてしまいます。

今回もまたプログラムにモーツァルトは入っていません。しかし、まったく残念ではありません。彼女のすばらしい一面が再確認できたり、新発見できたりするとともに、モーツァルトを聴く楽しみを残しておきたいからです。

(渡辺公夫)



・ご予約・問い合わせ先/美竹清花さろん 03-6452-6711 Webサイトからでもお申し込みいただけます。http://ur0.pw/DhU8